年間指導計画作成にあたって

本資料は，令和３年度版　光村図書　中学校道徳 「きみが　いちばん　ひかるとき」を使用するに当たって，年間指導計画を作成する際に参考になることを意図して作成したものです。年間指導計画の作成に当たっては，学習指導要領の基本的な考え方と「特別の教科　道徳」（以下,「道徳科」）の目標を根底に据えつつ，教科書を活用し，いかに各学校の実態に応じて実効性のあるものにするかという点にご配慮願います。

■学校・学級の実態に応じた年間指導計画の作成

- 道徳科においては，主たる教材として教科書を使用するとともに，各地域に根ざした地域教材など，多様な教材を併せて活用することが重要とされています。よって，年間指導計画の作成においては，教科書の教材や配列を生かすとともに，他の多様な教材も活用しつつ，各学校・学級の実態に応じてアレンジすることが望まれています。学校・学級の実態に合わせた地域教材等の多様な教材がどの教科書教材と入れ替えることが可能であるかを，教科書の教材ごとに設定されている内容項目・主題の点で捉え直し，検討することが必要になります。また，学校独自の教育目標や「総合的な学習の時間」，学校行事や地域の行事と関連を図ることで，より効果的な道徳性の育成につながると考えられます。
- 平成 29 年 7 月に発表された「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」の「第５章－第２節－２－（1）道徳科に関する評価の基本的な考え方」に,「授業において生徒に考えさせることを明確にして,『道徳的諸価値についての理解を基に,自己を見つめ,物事を広い視野から多面的・多角的に考え，人間としての生き方についての考えを深める』という目標に掲げる学習活動における生徒の具体的な取組状況を，一定のまとまりの中で，生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ，学習活動全体を通して見取ることが求められる。その際，個々の内容項目ごとではなく，大くくりなまとまりを踏まえた評価とすることや，他の生徒との比較による評価ではなく，生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め，励ます個人内評価として記述式で行うことが求められる。」とあります。

  そのような「大くくりな評価」を実施するために，1 時間 1 時間の授業において生徒の学習状況を見取るための視点として，本資料では「『大くくりな評価』のために（本時の評価の視点）」という欄を設けました。

  「『大くくりな評価』のために（本時の評価の視点）」は，道徳科の目標及び，学習指導要領の内容項目を基に作成していますが,教材の特性を生かし,「ねらい」と「学習活動」の具体的な内容に沿って，教師が見取るべき視点の例を示しています。これは，生徒の成長のために生かされなければなりませんし，併せて，教師の授業評価につながるものでなければならないでしょう。生徒の道徳性を育むとともに，よりよい授業改善に役立てられる評価のためのヒントとしてご活用ください。

本資料が,「道徳科」の授業の発展を目ざした，年間指導計画の作成の一助になることを願っています。

教科書の工夫と配慮

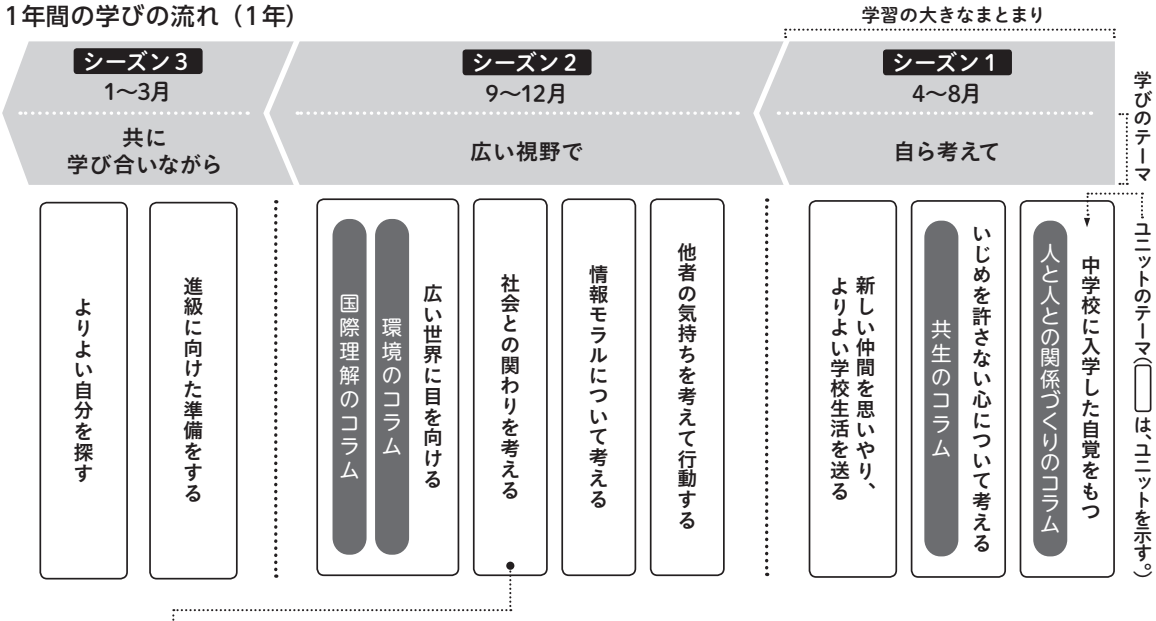
令和３年度版「きみが　いちばん　ひかるとき」は，生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するよう，また，先生方の日々の授業をサポートすることができるよう，さまざまな工夫や配慮をしています。それらについて，具体例（１年）を挙げながら解説します。

■年間構成の工夫

・学校生活の実態と，それに伴う生徒の成長を考慮した年間構成となるよう，１年間を３つのシーズン（まとまり）に分けました。

・各シーズンは，「学びのテーマ」に応じて，複数の教材を組み合わせた「ユニット」で構成しています。ユニットにも，「学びのテーマ」に応じたユニットごとのテーマを掲げました。

1年間の学びの流れ（1年）



C(12)社会参画，
公共の精神
▼
C(13)勤労
▼
C(10)遵法精神，公徳心
▼
C(16)郷土の伝統と
文化の尊重，
郷土を愛する態度
▼
D(19)生命の尊さ

シーズン２　広い視野で
「社会との関わりを考える」の学びの流れ

「ユニット」化で効果的な学びを実現

ユニット内の教材は，１時間の学びが，単独ではなく，教材から教材へと有機的に結び付くよう配慮しています。

例えば，シーズン２「広い視野で」のユニット「社会との関わりを考える」では，社会参画について学んだうえで，勤労の価値を理解し，さらに法やきまりを守る心，そして郷土を愛する心や命の大切さについて考えを深めていくという，学びの流れになっています（左図）。ユニットを通して効果的に学ぶことが期待できます。また，これらのユニットは，教科書184ページに示した，「この教科書が目ざした１年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

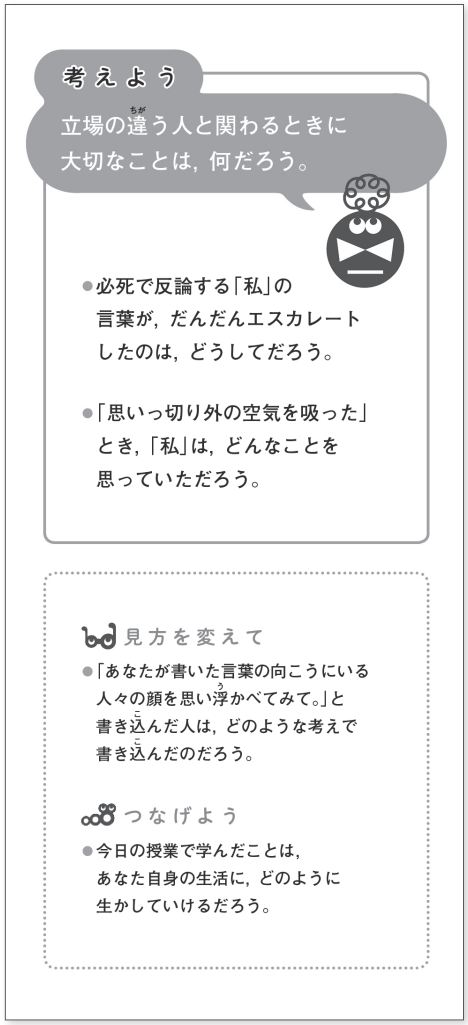
もちろんこれらの配列は絶対的なものではなく，各学校の教育目標に照らして，並び替えたり教科書以外の教材と併用したりすることも可能です。

■「てびき」の工夫

・１時間の学びの道すじがわかる「てびき」を用意し，考え，議論する時間が十分に取れる構成にしました。

・主体的・対話的な学びの姿，多面的・多角的な見方を引き出すよう，発問を精査し，また，「見方を変えて」「つなげよう」のコーナーを設けるなど，構成を工夫しました。

1年　p.77「言葉の向こうに」


考えよう
立場の違う人と関わるときに
大切なことは，何だろう。

●必死で反論する「私」の言葉が，だんだんエスカレートしたのは，どうしてだろう。

●「思いっ切り外の空気を吸った」とき，「私」は，どんなことを思っていただろう。

見方を変えて
●「あなたが書いた言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」と書き込んだ人は，どのような考えで書き込んだのだろう。

つなげよう
●今日の授業で学んだことは，あなた自身の生活に，どのように生かしていけるだろう。

考えよう

生徒が，教材を通して何を学ぶのか（学びのテーマ）をはっきりと意識することができるようにしました。

次に，それに迫るため，次のような２つの問い「●」を設定しました。

①道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）

②道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

また，最後にもう一度，学びのテーマに戻ることで，本時のまとめができるようにもなっています。

見方を変えて

生徒が，多面的・多角的な見方や考え方ができるよう，「考えよう」とは切り口を変えた問いを設定しました。

つなげよう

他教科や日常生活との関連，他教材との関連，関連する図書の紹介等を，教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが１時間の授業で終わってしまうのではなく，そこからさらに深く考えたり，行動につなげたりできるよう工夫しました。

体験的な学習（役割演技）を通して，実感をもって道徳的価値について考えを深めていくてびきも用意しました。

考えよう
相手のことを考えて行動するときに大切なのは，どんなことだろう。
●「私」は，どうして，赤い松葉づえの子が見えると走って横道に逃れたのだろう。
●「行ってお話ししてあげなさい。」という父の言葉を聞いて，「私」は，どんなことを思っただろう。
見方を変えて
●もし，父の言葉を聞いた「私」が，赤い松葉づえの子に話しかけるとしたら，どんな話をするだろう。
・「私」と赤い松葉づえの子を演じて，考えてみよう。
・演じているのを見ていた人は，「私」と赤い松葉づえの子のやり取りから，どんなことを感じたかを発表しよう。
「私」
赤い松葉づえの子
「私」は，赤い松葉づえの子に話しかけるとき，どんな思いでいるだろう。
赤い松葉づえの子は，「私」とどんな話をしたいだろう。

1年　p.68「父の言葉」

考えよう
「友情」とは，どういうものだろう。
●神社を抜した後，大野君の感謝の言葉を，「僕」が素直な気持ちで聞けなかったのは，どうしてだろう。
●伊藤君の言葉が「僕」の心に大きく響いたとき，「僕」は，どんなことを考えていただろう。
見方を変えて
●伊藤君に「友達って言ってたじゃないか。」と言われた後，「僕」は，何と答えるだろう。
・「僕」と伊藤君を演じて，考えてみよう。
・演じているのを見ていた人は，「僕」と伊藤君のやり取りから，どんなことを感じたかを発表しよう。
伊藤君
「僕」
伊藤君は，どんな思いでみんなに言ったのだろう。
「僕」は，どうして大野君の手助けをしていたのだろう。
つなげよう
●同性どうしの友情と異性との友情に，違いはあるだろうか。考えてみよう。

2年　p.25「松葉づえ」

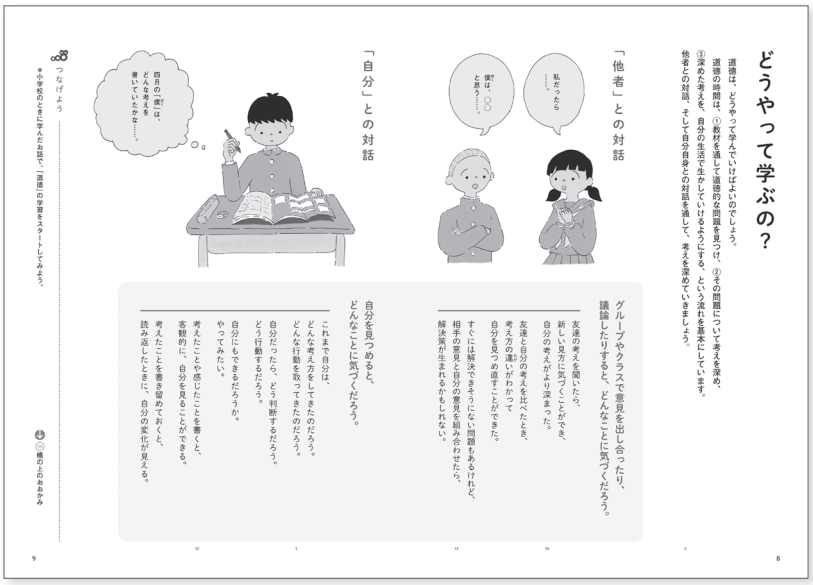
■学びに向かう力を育むための工夫－「道徳の授業を始めよう！」「道徳の学びを振り返ろう」

・道徳の授業を確かな学びの場とするために，道徳の「授業開き」と，学びの「振り返り」を，年間 35 時間の中に，しっかりと位置づけました。

【「道徳の授業を始めよう！」】

・１年間のスタートにあたって，学びを見通し，目的意識をもって授業に向かえるよう，各学年の第１教材に「道徳の授業を始めよう！」を設けました。

・22 の内容項目の確認とともに，１年では「どのように学ぶのか」，２年では「なぜ学ぶのか」，３年では「なぜいっしょに学ぶのか」を積み重ねていけるページとしました。



どうやって学ぶの？

道徳は、どうやって学んでいけばよいのでしょう。
道徳の時間は、①教材を通して道徳的な問題を見つけ、②その問題について考えを深め、③深めた考えを、自分の生活で生かしていけるようにする、という流れを基本にしています。
他者との対話、そして自分自身との対話を通して、考えを深めていきましょう。

「他者」との対話

私だったら……

僕は、○○と思う……

「自分」との対話

四月の「僕」は、どんな考えを書いていたかな……。

つなげよう

＊小学校のときに学んだお話で、「道徳」の学習をスタートしてみよう。

橋のよのおおかみ

グループやクラスで意見を出し合ったり、議論したりすると、どんなことに気づくだろう。

友達の考えを聞いたら、新しい見方に気づくことができ、自分の考えがより深まった。
友達と自分の考えを比べたとき、考え方の違いがわかって自分を見つめ直すことができた。
すぐには解決できそうにない問題もあるけれど、相手の意見と自分の意見を組み合わせたら、解決策が生まれるかもしれない。

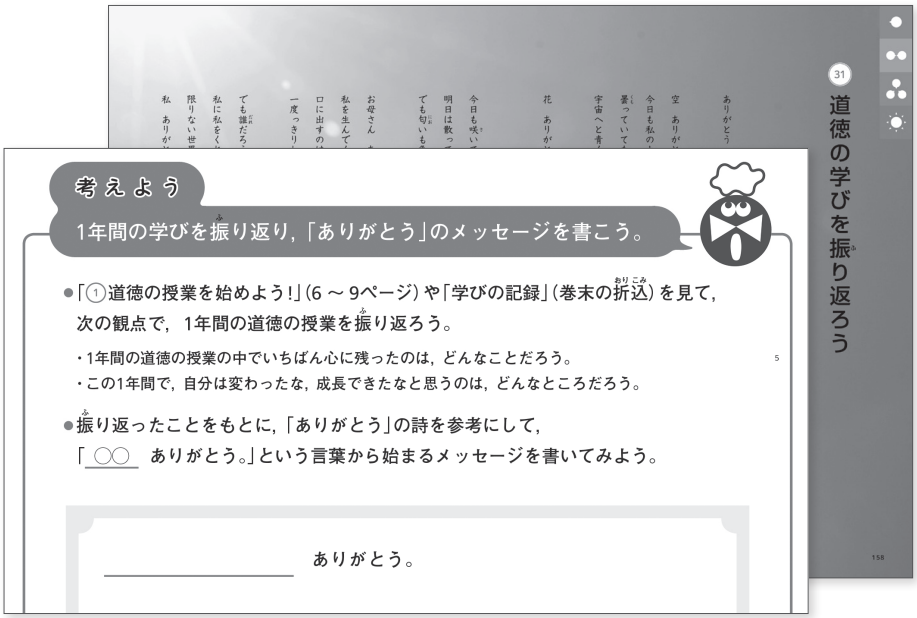
自分を見つめると、どんなことに気づくだろう。

これまで自分は、どんな考え方をしてきたのだろう。
どんな行動を取ってきたのだろう。
自分だったら、どう判断するだろう。
どう行動するだろう。
自分にもできるだろうか。
やってみたい。
考えたことや感じたことを書くと、客観的に、自分を見ることができる。
考えたことを書き留めておくと、読み返したときに、自分の変化が見える。

1年　p.8-9「道徳の授業を始めよう!」

【「道徳の学びを振り返ろう」】

・学年の最後に，１年間の道徳の学びを振り返り，自分に生まれた変化やこれからの生き方を見つめる教材を設けました。



31 道徳の学びを振り返ろう

考えよう

1年間の学びを振り返り，「ありがとう」のメッセージを書こう。

●「①道徳の授業を始めよう!」(6 ～ 9ページ) や「学びの記録」(巻末の折込) を見て，次の観点で，1年間の道徳の授業を振り返ろう。

・1年間の道徳の授業の中でいちばん心に残ったのは，どんなことだろう。
・この1年間で，自分は変わったな，成長できたなと思うのは，どんなところだろう。

●振り返ったことをもとに，「ありがとう」の詩を参考にして，「＿○○＿ ありがとう。」という言葉から始まるメッセージを書いてみよう。

＿＿＿＿＿＿＿＿ ありがとう。

1年　p.158-160「道徳の学びを振り返ろう」

■多様な教材についての工夫

・読み物教材に加え，「問題解決的な学習」を取り入れた教材，漫画を読んで考える教材など，さまざまな形態の教材を掲載しました。

生徒の日常生活で起こり得る問題を取り上げ，解決するためにどうすればよいかだけでなく，考え方や思いについても考えられるようにしました。

さまざまな立場に立って考えることができ，多面的・多角的な学びにもつながります。

1年　p.50-54「みんなで成功させよう」

漫画でわかりやすく示し，内容を素早く理解させることで，話し合いの時間をより多く確保することができます。

2年　p.145-149「気づかなかったこと」

■考えることを楽しむための工夫

・１年「『正義』って，なんだろう。」，２年「『ゆるす』って，なんだろう。」，３年「『自立』ってなんだろう。」というテーマを設け，それぞれのテーマについて，多面的・多角的に考えられるようなページを設けました。

・複数の道徳的価値が含まれた内容として，生徒が自由に多様な意見を出し合い，楽しみながら考えを深めることができます。

1年　p.80-81

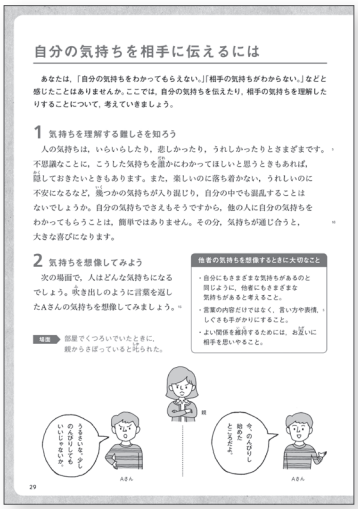
2年　p.78-79

3年　p.84-85

■「現代的な課題」に向き合うための工夫

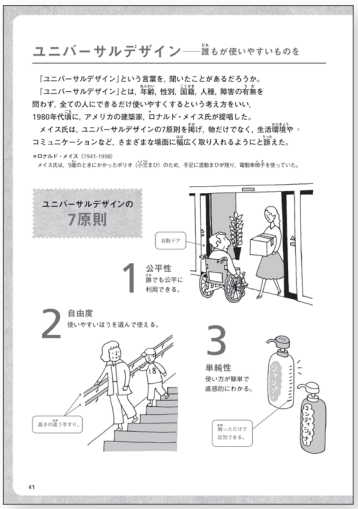
・いじめ問題や，環境，国際理解，共生など，生徒に考えてほしい「現代的な課題」について，教材と結び付けて考えられるページを用意しました。

他者とのよりよい関係を築くこつがわかるコラム 広げよう「人と人との関係づくり」を２か所に掲載しました。



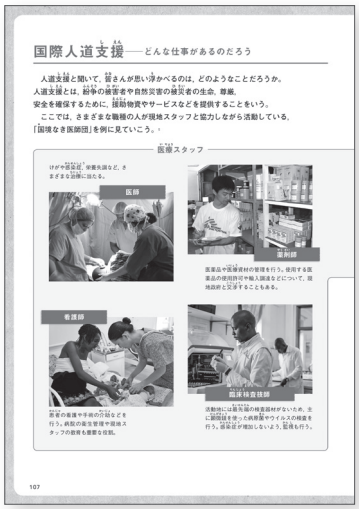
1年　p.28-29 広げよう
人と人との関係づくり
「自分の気持ちを相手に伝えるには」

全学年について，「共生」についてのコラム 広げよう を設け，関連する教材の後に位置づけました。



1年　p.40-41 広げよう 共生
「ユニバーサルデザイン
─誰もが使いやすいものを」

全学年について，「国際理解」についてのコラム 広げよう を設け，関連する教材の後に位置づけました。

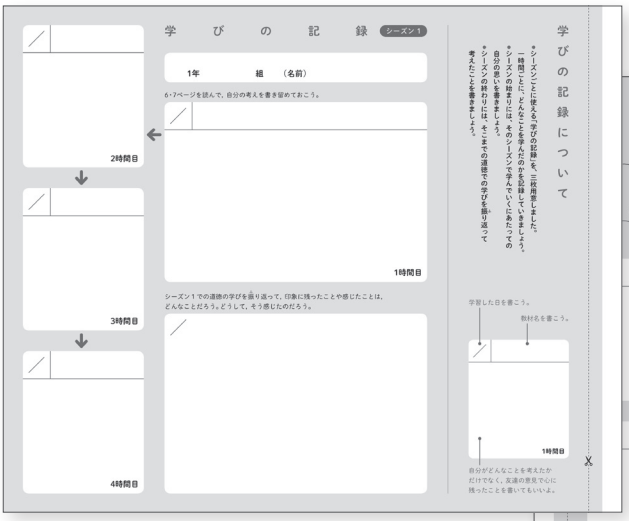


2年　p.106-107 広げよう 国際理解
「国際人道支援
─どんな仕事があるのだろう」

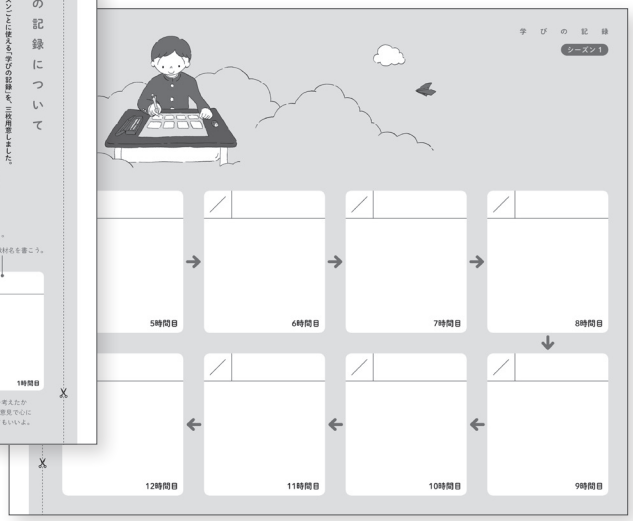
■生徒の振り返りや，「大くくりな評価」のための工夫

・1時間ごとに，学んだことや，気づいたことが書き込めるポートフォリオ形式のシート「学びの記録」を，各シーズンに１枚用意しました。

・シーズンごとの振り返りや１年間の振り返りに役立ちます。切り離すこともできるので，評価の材料としても活用できます。



〈表〉



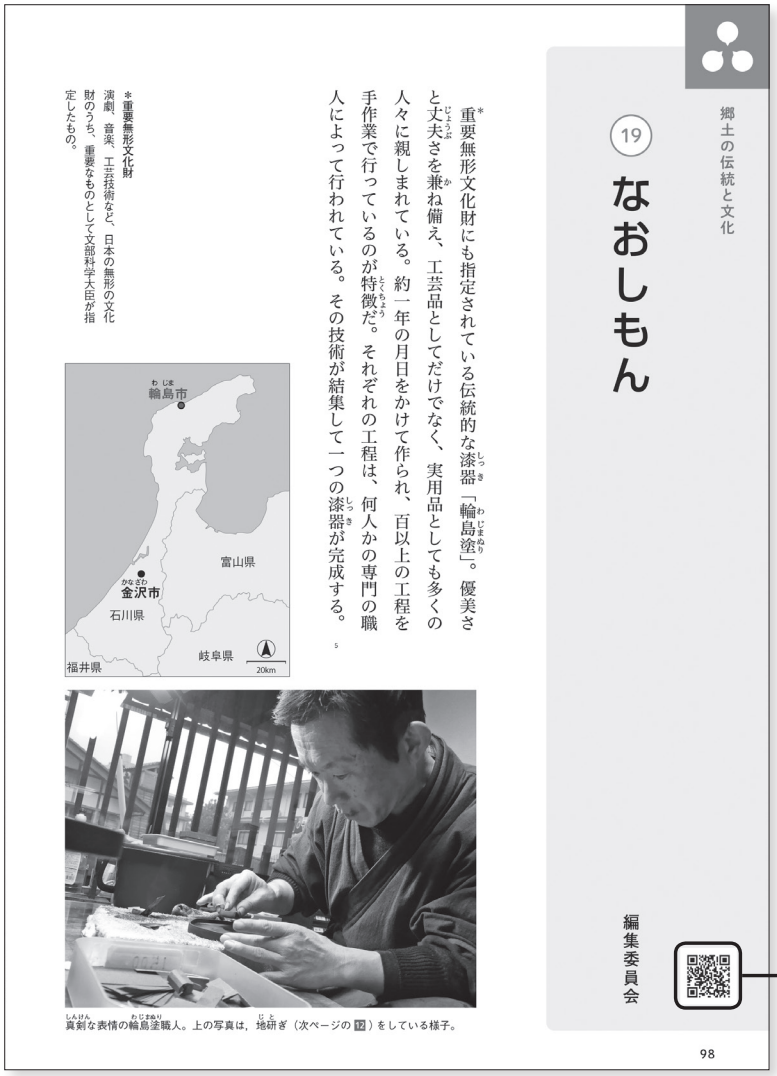
〈裏〉

1年　巻末折込　「学びの記録」シーズン1

■生徒を教材に引き込む工夫（QR コードコンテンツ）

・人気声優による朗読や，授業の導入や展開で活用できるオリジナル写真・動画，教材に関連する情報や写真・動画を見ることができるウェブサイトの紹介など，授業に役立つデジタルコンテンツを用意しました。

・教科書紙面の QR コードを読み取ることでアクセスすることができます。



郷土の伝統と文化

19 なおしもん

編集委員会

＊重要無形文化財にも指定されている伝統的な漆器「輪島塗」。優美さと丈夫さを兼ね備え、工芸品としてだけでなく、実用品としても多くの人々に親しまれている。約一年の月日をかけて作られ、百以上の工程を手作業で行っているのが特徴だ。それぞれの工程は、何人かの専門の職人によって行われている。その技術が結集して一つの漆器が完成する。

＊重要無形文化財
演劇、音楽、工芸技術など、日本の無形の文化財のうち、重要なものとして文部科学大臣が指定したもの。

真剣な表情の輪島塗職人。上の写真は，地研ぎ（次ページの 2 ）をしている様子。

98

1年　p.98「なおしもん」

収録コンテンツ一覧（2年）

18教材で19本のコンテンツを収録しました。1年は25本，3年は23本のコンテンツを収録しています。

2 年			
教材名	教科書連動コンテンツ	教材名	教科書連動コンテンツ
3　カラカラカラ	朗読	21　僕の仕事場は富士山です	ウェブサイト・資料
4　ジコチュウ	朗読	22　宇宙の始まりに思いを寄せて	ウェブサイト
5　松葉づえ	朗読	23　つながる命	ウェブサイト
6　消防団	ウェブサイト	26　夢の力	ウェブサイト
9　許せないよね	朗読	29　クロスプレー	朗読
11　異なり記念日	朗読	30　泣きすぎてはいけない	朗読
13　秀さんの心	朗読	33〈付録〉アイヌの歌を歌いたい	ウェブサイト
15　一枚の布から	ウェブサイト	34〈付録〉アンネのバラ	資料
20　むこう岸には	朗読	35〈付録〉泣いた赤おに	朗読

QR コードは，（株）デンソーウェーブの登録商標です。

■さまざまな配慮や工夫

〈特別支援教育への配慮〉

・特別支援教育の専門家の校閲を受け，学習上，支援が必要な生徒にとっても理解しやすいものとなるよう，読みやすさ，わかりやすさに配慮しました。
・文字の書体をはじめ，大きさや配置，写真や絵の色遣いや配置の他，枠組みを使ったデザイン処理など，ユニバーサルデザインの観点から見て，十分な配慮をしました。

〈カラーユニバーサルデザインへの配慮〉

・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け，色覚特性をもつ生徒が学習に支障を来すことがないよう，十分に配慮しました。
・全編を通して見分けやすい配色になっているとともに，色の区別だけに頼らず，文字の説明を加えるなどして，色を見分けにくい生徒にも情報が伝わるよう，配慮しました。

〈人権教育上の配慮〉

・教科書全般にわたって，教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに，人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い，人権に配慮した記述としました。また，人権教育の専門家に，全面的な校閲を受けました。

〈表記・表現の配慮〉

・中学校以上配当の常用漢字全てに振り仮名を付しました（固有名詞は教材初出のみ）。また，全学年を通して読みの負担を軽減するための配慮を徹底しました。

〈文字の書体・大きさ・文字組みへの配慮〉

・本文には，全ての生徒の読みやすさに配慮したUDフォントの明朝体を用い，読みやすさに配慮しました。
・文字の大きさは，発達段階や教材の内容によって，十分に配慮しました。また，各ページの字詰め，行詰めは，生徒が読みやすいようにデザインしました。

〈印刷・製本上の配慮〉

・本文には，軽くて裏写りしにくい用紙を採用し，判型は，中学生が手に持ちやすく扱いやすいB5判としました。
・製本のしかたは，生徒や先生方の使い勝手に配慮し，従来の様式よりも強度が強く，開きやすい「あじろとじ」を採用しました。
・表紙は耐久性を高めるP.P.ラミネート加工を施して折れにくく，製本は堅牢です。
・環境に配慮した紙を使用し，エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。

本資料の構成

本資料の構成は，以下のとおりです。

① シーズン	② ユニット	③ 月（時）	④ 内容項目・教材名	⑤ ねらい	⑥ 学びのテーマ（★）・学習活動（中心的な発問◎）	⑦ 「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）	⑧ 他教科・領域や現代的な課題等との関わり
シーズン1　自ら考えて	中学校に入学した自覚をもつ	4月（1時）	【内容項目を限定しない】 1　道徳の授業を始めよう！	道徳で何を学ぶのか，どのように学ぶのか，どうして学ぶのかについて考えさせながら，1年間の道徳の学びの見通しをもたせ，これからの学びを広げたり，深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★これから1年間，自分が伸ばしていきたい心について考えよう。 1　今日の学習のテーマを知る。 2　教科書 P.6「道徳で何を学ぶの？」を読み，自分のこれまでを振り返り，これからを考える。 ○自分が大切だなと思う心を２２のキーワードから５つ選んで付箋紙に書いてみましょう。 ○自分が選んだ５つのキーワードを４つに分類して，気づいたことを書いてみましょう。 ◎自分が中学１年生として，この１年間で身につけていきたい，もっと伸ばしていきたいと思う心のキーワードはどれでしょう。付箋紙に３つ書いてみましょう。 ○グループで，自分が伸ばしていきたい心のキーワードとその理由について紹介し合いましょう。 ○今日の学習活動を思い出しながら，教科書 P.8 を読み，学習のすすめ方を確認しましょう。 3「学びの記録」に記入する。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・大切にしている自分の感じ方・考え方，これから伸ばしていきたい心について整理し，友達の意見を聞くことで，自分と違う他者の感じ方・考え方に気づき，自分の考えを広げることができたか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・何を学ぶか，どのように学ぶかを自分なりに考え，授業で大切にしたいことについての見通しがもてたか。	
		4月（2時）	【A（1）自主，自律，自由と責任】 2　自分で決めるって？	部活動や定期テスト，新たな人間関係など，入学時に直面する中学校生活特有の場面から，自主，自律の意識をもつことの大切さについて考えさせ，自分の責任で物事を決定しようとする判断力を育てる。	★自分で何かを「決める」ときに大切なのは，どんなことだろう。 1　自分で考え，行動しているかを振り返る。 2「自分で決めるって？」を読んで考える。 ○①で，A さんや B さんが自分の行動を決めるとき，それぞれ，どのように考えればよかったのでしょう。 ○あなたが②の「私」だったら，どうするでしょう。理由とともに考えましょう。 ◎自分で何かを決めるときに大切なのは，どんなことだと思いますが。ワークシートに書いて話し合いましょう。 3「学びの記録」に記入する。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・自ら考え，判断し，実行することについて，「自由」という面から捉えるだけでなく，自分や他者に対する「責任」という面からも捉えなおそうとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・登場人物の行為から現在の自分自身を振り返って見つめ直し，自主的，自律的に考え，行動していこうとしているか。	いじめ問題 キャリア教育 社会参画に関する教育 法教育
		4月（3時）	【C（14）家族愛，家庭生活の充実】	14 歳の柳橋佐江子さんが，手術の前に母親に宛てて書いた	★家族について，考えよう。 1　家族とはどんな存在かを振り返る。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】	共生 健康教育

① シーズン …… 1年間の学習を，以下の３つのシーズン（まとまり）に分け，各シーズンのテーマとともに示しました。

〈例〉1年

・4月から8月の学習のまとまり…自ら考えて

・9月から12月の学習のまとまり…広い視野で

・1月から3月の学習のまとまり…共に学び合いながら

② ユニット …… 内容項目間の有機的なつながりを意識した複数の教材のまとまりである，ユニットのテーマを示しました。

③ 月（時） …… 学習する月と，その月内の何時目の学習かを示しました。

④ 内容項目・教材名 …… 「内容項目」は，学習指導要領に示されている視点と内容項目を示しました。

「教材名」は，教材番号と教材名を並べて示しました。

⑤ ねらい …… 「ねらい」は，学習指導要領に則り，教材ごとに原則として以下のような文言に統一して示しました。

・（資料の大まかな内容）を通して，

・（★学びのテーマ）について考えさせ，

・～判断力／心情／実践意欲と態度を育てる。

⑥　学びのテーマ・学習活動

……　教科書の「考えよう」に示された「学びのテーマ」を，★を付して示し，「学習活動」は，以下のように示しました。

・「１」は，導入の取り組みを示している。

・「２」は，教材を読むなど，主たる学習活動を示すとともに，その活動における発問を示した。発問は，教科書の「てびき」に提示されたものを示すようにした。なお，中心的な発問には◎を，それ以外の発問には○を付した。

・「３」は，「学びの記録」への記入を促している。

⑦　「大くくりな評価」のために（本時の評価の視点）

……　道徳性に係る成長の様子を評価する際は，学習活動において生徒が「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか」「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか」という視点を重視します。

そこで，「大くくりな評価」に資するよう，それぞれの学習時について，この２つの評価の視点を示しました。

⑧　他教科・領域や現代的な課題との関わり

……　想定できる他教科や特別活動，現代的な課題との関わりについて示しました。